

# News Letter

## 網膜の疾患について

※網膜の疾患は種類が多いため、数ある中から抜粋して代表的なものを説明していきます。

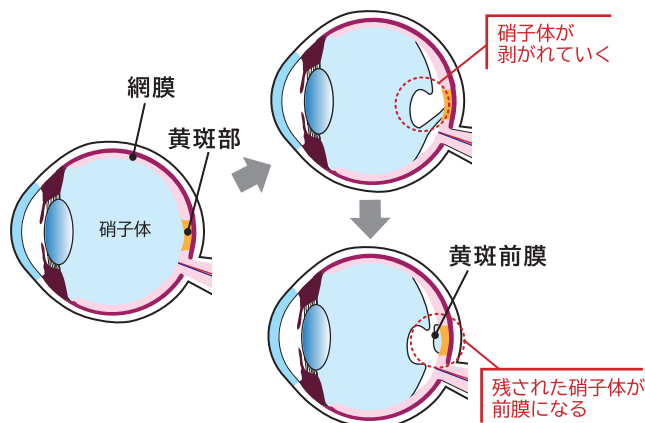
今回は様々な疾患を起こす可能性のある網膜についてお話したいと思います。網膜はカメラで言うフィルムにあたる部分です。光を感じて電気信号を起こし、脳に伝える働きをします。フィルムが機能しないと写真が映らないように、網膜が損傷すると物が見えなくなったり、視界が暗くなったり、景色が歪んで見えたりと非常に多くの症状が出ます。

50歳以上の方に多い病気

### 黄斑前膜 (おうはんぜんまく)

01

#### モノを見るのに最も重要な黄斑部に膜ができる病気



網膜の中心にある黄斑部 (おうはんぶ) の「前」に「膜」ができます。加齢とともに眼の中の硝子体が網膜から剥がれていき、網膜の表面に残った硝子体が膜となります。黄斑部は最も感度が高く視力もよくするため、少しでも異常があると視力低下をおこしやすいです。

#### ● 症状

前膜が収縮することにより、網膜に皺 (しわ) を生じて、網膜の細胞が障害されます。通常網膜の中心である、黄斑部に生じるため、物が歪んで見えたり、グレーがかって見えたりします。

#### ● 原因

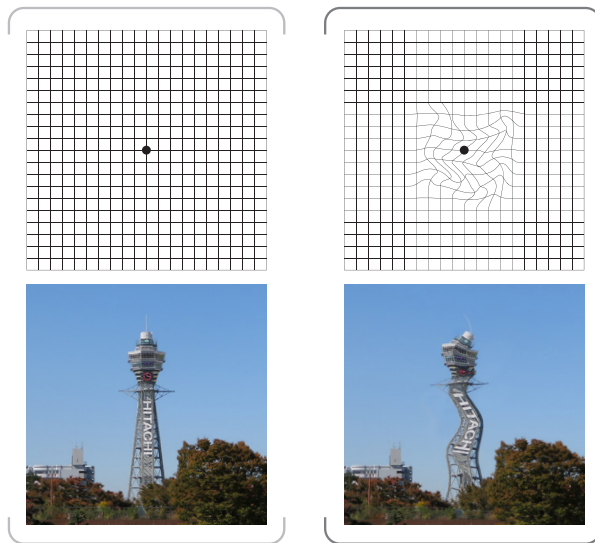
硝子体の影響や、加齢が考えられています。また強度近視の方はもちろん、糖尿病や動脈硬化の方も黄斑前膜になりやすいと言われています。

#### ● 治療

手術は硝子体と黄斑前膜を取る硝子体切除術を行い、通常20~30分程度で終わります。また、約100分の1の確率で網膜剥離などの合併症を生じる場合があります。手術後は網膜に後遺症が残ったりすることも多いですが、徐々に網膜が回復し、視力も向上していきます。

正常な見え方

歪んで見る (変視症)

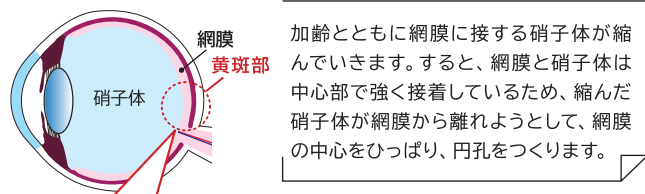


60歳~70歳代に多い病気

### 黄斑円孔 (おうはんえんこう)

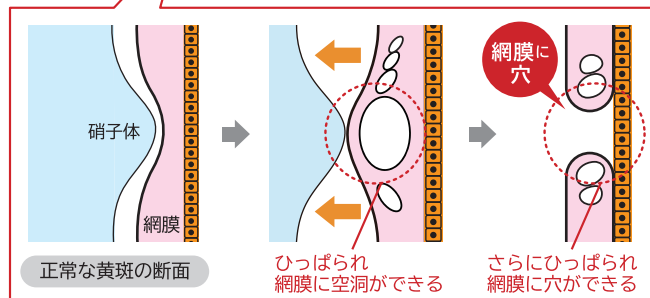
02

#### モノを見るのに最も重要な黄斑部に穴が開く病気



黄斑は網膜の中で最も大事な部分で、文字を読んだり人の顔を認識したりします。黄斑がやられてしまうと、景色など大雑把なものは見えますが、看板の内容が分からなかったり、文章が読めなくなったり、人の顔が認識できなくなったりします。黄斑円孔は手術で治る病気ですので早めの受診・治療が大事です。

加齢とともに網膜に接する硝子体が縮んでいきます。すると、網膜と硝子体は中心部で強く接着しているため、縮んだ硝子体が網膜から離れようとして、網膜の中心をひっぱり、円孔をつくります。



正常な黄斑の断面

ひっぱられ網膜に空洞ができる

さらにひっぱられ網膜に穴ができる

## ● 症状

初期はモノの中心がすぼんで見えたり、見たい部分が黒い影になるなど、最も見たい部分が見えにくくなるのが特徴です。外の景色などは普通に見えるため、気づかないこともしばしばです。症状が出てからあまり長期間放置すると閉じなかつたり、手術しても視力が上がらなくなります。

## ● 原因

加齢によるもの、打撲、強度近視によるもの。

## ● 治療

治療は硝子体手術を行います。硝子体というゼリー状のものを取り、円孔の周りをきれいにして、最後にガスを入れ終了します。ガスを入れた場合下向きや横向きなどの体の向きの制限が加わります。またガスが入っている間、通常1週間から2週間はあまり見えません。

網膜が痛む前に、そして穴が大きくなる前に手術することが何よりも重要なことです。

正常な見え方



すぼんで見える (変視症)



黒い影



日本における失明原因のひとつ

## 03 糖尿病網膜症 (とうによびょうもうまくしょう)

### 糖尿病の合併症でおきる病気

糖尿病網膜症は網膜の血管が障害を受け、失明になる恐ろしい病気です。以前は糖尿病網膜症が日本における失明原因の第一位でした。今でも失明原因の上位であることに変わりありません。糖尿病網膜症は様々な症状・経過があり、大きく分けて初期、中期、末期の3期に分けられます。

#### ● 初期

網膜に異常がない、もしくはあっても小さな異常です。典型的には網膜に動脈瘤や小さな出血を生じます。自覚は通常ありません。動脈瘤は網膜の中心部付近(黄斑部)にできない限り治療は必要ありませんが、中期に述べるように網膜が腫れて見えにくくなった場合は治療の必要が生じます。

#### ● 中期

網膜の様々な細い血管が閉塞してきます。動脈瘤や網膜血管が障害されて網膜の中心部が腫れた場合(黄斑浮腫)は、レーザー治療や眼内注射を行います。この段階で失明することはありませんが、末期に至る前段階と考えることができます。この時点になっても視力が低下しない場合があります。末期になるとほぼ100%後遺症が残るため、この段階で踏みとどまることが重要です。

#### ● 末期

血管閉塞により網膜の酸素や栄養が不足して網膜新生血管が生じます。新生血管により目の中での出血や、網膜剥離、緑内障が生じます。この段階になると視力低下などの自覚症状が生じ、失明に至ることもあります。治療としてはレーザーや手術が基本となりますが、必ずしも奏功するとは限りません。

#### ● 糖尿病と診断されたら

糖尿病と診断されたら糖尿病網膜症の自覚症状がなくとも、眼科に定期的に通院し検査をすることが大切です。そして、最も大事なのは血糖のコントロールで進行を食い止めるのが重要です。

## 医療法人恭青会 SNS更新中!!



院内の活動などについて掲載しています。  
@kyoseikai.eye.doctor で検索、フォローお願いします!



院内の活動や目の病気などについて掲載しています。  
@kyoseikai で検索、フォローお願いします!



診療時間、予定外の時間変更のお知らせなどを  
ご案内しています。

### お知らせ

いつもニュースレターをご愛読いただき、ありがとうございます。  
今月号より患者様・一般の方向けの「慈恩」と医師・医療関係者の方向けの「慈育」がひとつになり、ニュースレター「慈育・慈恩」に生まれ変わりました。

## LINE 公式アカウント

QRコードからお友達登録をお願いします

いくの眼科  
十三本院



いくの眼科  
武庫之荘院



医療法人恭青会  
<https://kyoseikai.com/>



2017年3月に医療法人恭青会を設立いたしました。  
いくの眼科 十三本院と武庫之荘院と管理部の3拠点から構成されています。



いくの眼科  
<https://kyoseikai.com/ikuno-eye/>  
TEL.06-6309-4930



いくの眼科 武庫之荘院  
<https://kyoseikai.com/mukonosou/>  
TEL.06-6423-8871

